

## 新学習指導要領に基づいた

## 子供たちの学びの充実を目指して

～「資質・能力の三つの柱」～

千葉県立銚子特別支援学校

電話 0479-22-0243

FAX 0479-25-0551



### 研究のポイント

新学習指導要領の改訂に伴い、「資質・能力の三つの柱」について理解を深めながら実践を行っていく。複数の障害に対する教育課程を検討するにあたって、子供たちの実態に応じた適切な目標設定(個別の指導計画等)や授業実践、学習評価の在り方について、事例研究を通して探っていく。取り組みの際には、各教科等チェックシート・自立活動フローシート(千葉県総合教育センター特別支援教育部作成)などを活用し、個別の指導計画の見直しや指導の改善を目指していく。実践を通して、子供たちの学びの充実を図り、学びの連続性を重視した教育課程を実現させることを目的とする。

### ■学校の概要

<https://cms2.chiba-c.ed.jp/choshi-sh/>

本校は昭和37年に銚子市の特殊学級として発足し、昭和38年に銚子市立養護学校として開校した。知的障害、肢体不自由のある幼児児童生徒を対象とした学校であり、全校で90名が在籍している。現在は幼稚部・小学部・中学部・高等部が設置されており、幼児児童生徒の実態の幅に対応する教育課程として、「準ずる教育課程」「教科等を合せた教育課程」「自立活動を主とする教育課程」を設けて教育活動を展開している。また、本校には寄宿舎があり、個々の子供たちの自立に向けた基本的生活習慣の確立と社会の育成を目指して、指導を行っている。令和2年度は舎生16名(小学部2名、中学部0名、高等部14名)が入舎しており、学習指導との関連を図りながら生活指導を展開している。

### ■研究課題

複数の障害に対応できる教育課程において、個に応じた幼児児童生徒の質の高い学びを実現するために、各教科等チェックシートや自立活動フローシートを活用した個別の指導計画や評価の在り方についての実践研究を行う。

### ■研究の目的と方法

#### 【研究の目的】

- (1)新学習指導要領を踏まえた目標設定と評価の見直し、授業改善を図っていくことにより、個に応じた学びの質や生活の質を向上させることができる。
- (2)各教科等チェックシートや自立活動フローシート、「寄宿版チェックシート」などのツールを活用した個別の指導計画の作成や評価の在り方を開発することができる。

#### 【研究の方法】

##### 幼稚部・小学部・中学部・高等部の取り組み

各自所属する部で研究を行う。学部ごとに小グループを設け、事例児童生徒を抽出して年間を通して下記の事項について幼児児童生徒の変容を基に事例研究を行う。

- (1)目標設定:適切な実態把握や学習指導要領における「資質・能力の三つの柱」に基づいた目標設定について検討。
- (2)授業実践:個別の指導計画、学習指導要領を活用した授業づくり。
- (3)評価:適切な評価方法における次の学習への連続性。

## 寄宿部の取り組み

適切な目標設定を図るために、「寄宿部版チェックシート」(試案)を作成し、小グループに分かれて年間を通して事例研究を行う。

○実態把握⇒ 実践 ⇒ 振り返り (PDCA サイクルでの振り返り、子供の生活の質の向上)

## ■研究概要

### (1)各部の取り組み

#### 【幼稚部・小学部・中学部・高等部の取り組み】

**目標設定** 「各教科等チェックシート・自立活動フローシート」を作成し、各教科・自立活動の目標を明らかにした個別の指導計画を作成し、内容についてグループで検討。

#### 成果

◎個別の指導計画の作成時に、実態を「資質・能力の三つの柱」に基づいて整理することができた。

◎学習指導要領を活用した教科の見方・考え方による目標設定をすることができた。

◎「各教科等チェックシート・自立活動フローシート」を使用したことで、児童生徒の段階の目標を知ることができたり、課題とする部分を明確にしたりすることができた。

#### 課題

●「各教科等チェックシート・自立活動フローシート」の活用方法の共通理解が必要。

●個別の指導計画の活用に向けて、書式の改善。

**授業実践** 学習指導案に新学習指導要領に基づいた内容及び個別の指導計画の目標(各教科との関連)を明記し、授業者・参観者共に共通の視点で研究協議会を実施。

#### 成果

◎授業計画における、個別の指導計画を活用した事例児童生徒の学習活動の設定。

#### 課題

●研究協議会での話し合いが充実するために、あらかじめ協議会でどのような視点で検討していくのかについて、より共通理解を深めるための方法を改善する必要がある。

**評価** 個別の指導計画や授業実践での短期目標に対して学習の評価を行い、次の学習での目標を設定。

※年間を通した事例児童生徒の学習評価については、「学習の記録」と関連し合いながら、今後小グループで検討していく。

#### 【寄宿部の取り組み】

学習指導要領の生活科の資料や国際生活機能分類(ICF)等を参考にして本校寄宿部独自の「寄宿部版チェックシート」を作成。

#### 成果

◎「寄宿部版チェックシート」を活用したことで、個々のねらいが明確になり、研究日を活用してより具体的な支援方法について探ることができた。

#### 課題

●項目によっては評価が難しいものがあつた。誰にでも活用できるシートの開発。

### (2)今後の方向性

#### 教育課程の検討

・学習の評価を行った際に、1年間の学習の習熟度や次年度における目標を明確にしたうえで、子供たちの学習がよりよいものとなるように教育課程を見直す必要がある。

#### 個別の指導計画を活用した学習の充実を目指して

・各教科等チェックシート・自立活動フローシート、寄宿部版チェックシートなどを活用して、学習につながる個別の指導計画の作成、実践での活用方法について探る必要がある。

## 関連資料

- ・特別支援学校 幼稚部 教育要領
- ・特別支援学校 小学部・中学部 学習指導要領
- ・特別支援学校 高等部 学習指導要領
- ・特別支援学校 学習指導要領解説 総則等編(高等部)
- ・特別支援学校 教育要領 学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)
- ・特別支援学校 学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)
- ・特別支援学校 学習指導要領解説 知的障害者教科等編(上、下)(高等部)
- ・特別支援学校 教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)
- ・文部科学省 中央教育審議会「2 新しい学習指導要領等が目指す力」
- ・千葉県総合教育センター特別支援教育部「各教科等チェックシート・自立活動フローシート」

## 【講評】

### 銚子特別支援学校の実践について

今年度、「新学習指導要領に基づいた子供たちの学びの充実を目指して」というテーマで、目標設定と評価の見直し等に取り組んでいただきました。新学習指導要領に示された各教科の目標及び内容の一覧に沿って、「資質・能力の三つの柱」に基づいて児童生徒の実態を把握する際、千葉県総合教育センターの各教科等チェックシート等、学部を超えて同じシートを使いながら児童生徒の実態を把握したことは、大変意義深いことです。

多様な障害種の幼児児童生徒が在籍する銚子特別支援学校において、同じ視点で幼児児童生徒の実態を把握し、将来の姿をイメージしながら今やるべき目標が具体的に設定できたという成果は、全ての特別支援学校に還元できるものだと考えます。

今後は、この実践をとおして、幼児児童生徒の学びの充実を図り、学びの連続性を重視した教育課程を実現することを期待しております。